

2026年5月1日

株式会社 MaaS Tech Japan

MaaS Tech Japan、国土交通省「地域交通 DX 推進タイプ」で3件の事業に選定

— 標準仕様・標準業務モデルの社会実装を通じ、持続可能で利便性の高い移動社会の実現を加速 —

未来の理想的な移動社会の基盤構築を支援する株式会社 MaaS Tech Japan（本社：東京都千代田区、代表取締役：日高 洋祐、以下「MaaS Tech Japan」）は、国土交通省が推進する令和8年度『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「地域交通 DX 推進タイプ」において、MaaS Tech Japan が関与する3件の事業が選定（注1）されたことをお知らせいたします。本プロジェクトは、国土交通省が実施する補助事業の枠組みのもと、交通分野におけるデータ標準、業務プロセス、API仕様等の標準化を推進し、それらの社会実装を加速することを目的としています。MaaS Tech Japan は、これらの標準仕様やモデルを、地域交通の現場で実際に活用可能な形へと具体化し、自治体や交通事業者、地域事業者、システムベンダーの方々が導入や連携をしやすい仕組みとして展開します。

MaaS Tech Japan は今回の選定を通じ、自社プロダクトの4本柱のうちの「SeeMaaS（シーマース）」「Noluday（ノルデイ）」「SSM（Shared Service for Mobility）」を軸に、国土交通省 地域交通 DX プロジェクト「COMmmmmONS」（注2）に準拠させます。同時に、個別最適・個別開発に依存しがちだったシステム導入を、より汎用的で再現性のある形へと進化させ、モビリティ業界全体へ標準化の取り組みを行き渡らせる方針です。今回の取り組みでは、単なるシステム導入や実証にとどまらず、標準化によって以下のような価値を社会に還元してまいります。

1. 自治体にとって導入しやすい仕組みへ

国の標準仕様や標準業務モデルに沿うことで、地域ごとの過度な個別設計を抑制し、導入時の検討負荷や調整負荷の軽減を図ります。これにより、将来の横展開や他地域事例の活用もしやすくなり、公共交通政策や地域交通計画の実装可能性を高めます。

2. 交通事業者にとって持続可能な運営へ

予約、配車、運行、データ取得、分析、ダイヤ検討といった一連の業務を、標準化された仕組みの上で改善することで、現場負担の軽減とサービス品質向上の両立を目指します。限られた人的資源の中でも、より効率的で持続可能な運営モデルの構築に貢献します。

3. システムベンダーにとって連携しやすい市場へ

標準 API や標準データ仕様に沿った連携が進むことで、地域ごとの個別インターフェース開発を抑え、相互接続性の高い開発環境の実現を後押しします。これは、ベンダー各社にとっても参入しやすく、担ぎやすく、組み合わせ提案をしやすい市場形成につながります。

4. 利用者にとって、より分かりやすく、使いやすい移動へ

交通サービスが分断されず、必要な情報や予約導線がつながることで、移動の選択肢をより自然に比較・

< 報道関係者のお問い合わせ先 >

1

MaaS Tech Japan 広報 E-mail : pr@maas.co.jp

利用できる環境づくりを進めます。結果として、より利便性が高く、外出しやすく、継続可能な交通サービスの提供を進めます。

今回の3件は、それぞれ異なる領域を対象としながらも、共通して「標準化された仕組みを、現場で実際に機能する形へ変える」ことを重視しています。MaaS Tech Japan は個社だけが利益を得る閉じた仕組みではなく、地域交通の担い手が広く活用できる、開かれた実装と事業化の両立を目指します。

MaaS Tech Japan は今後も、国土交通省をはじめとする関係各位と連携しながら、標準化の成果を地域交通の現場に着実に届け、より効率的で、より利便性が高く、より持続可能な交通社会の実現に取り組んでまいります。また、交通事業者、自治体、システムベンダー、関連事業者の皆様との連携可能性についても、個別導入やシステム連携、共同検討など幅広く前向きに模索してまいります。

注1：国土交通省 令和8年度『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」地域交通 DX 推進タイプの選定について～ 報道発表資料：https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000512.html

(別紙 <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001995447.pdf>)

注2：国土交通省 地域交通 DX プロジェクト「COMmmONS」：<https://www.mlit.go.jp/commmmons/>

<MaaS Tech Japan が手掛けるプロダクト群>

・MaaS プラットフォーム「SeeMaaS」について

SeeMaaS は、あらゆる移動データを統合・分析し、地域の移動課題解決と価値創出につながる、データに裏打ちされた交通施策を導くための MaaS プラットフォームです。移動データの活用により交通、環境、観光など様々な分野の取り組みを促進します。<https://www.maas.co.jp/seemaas/>

・地域密着・住民参加型 MaaS アプリ「Noluday」について

目的地情報や最適経路の検索、配車予約といった交通サービスを一气通貫で提供する機能を軸に、利用者のリアルな声を収集するアンケート調査機能や、それらのデータを分析するダッシュボード機能も搭載しています。サービスを提供する側の行政や事業者はもちろん、利用する側の住民もソリューションを通じて地域交通の発展活動に参画しやすい一連の仕組みにより、地域環境の改善サイクルを加速させ、その地域に適した持続的な移動エコシステムの構築を目指します。<https://www.maas.co.jp/noluday/>

・モビリティ特化の共有基盤「SSM」について

新しいモビリティサービスの導入・運行に必要な機能の提供と、地域や事業者間でのモビリティ・移動周辺データの連携を可能にするモビリティ特化の共有基盤。「簡単・連携」がコンセプトで、既存の交通サービスや地場の交通事業者などの資産・プレーヤーも「連携」させながら、誰もが新しいモビリティサービスを、負担少なく「簡単」に組成することがSSMの活用目的です。

【MaaS Tech Japan について】

2018年11月に創業。「100年先の理想的な移動社会の基盤を構築し、移動社会を高みにシフトさせる」ことを目指し、移動に関する課題解決に取り組む企業や自治体を支援するプロダクトやソリューションを提供しています。公式HP：<https://www.maas.co.jp/>